

日本鋼管福山病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。また、研究への拒否の意思を表明されても、いかなる場合でも不利益を被ることはありません。

研究課題名 (承認番号)	消化管濾胞性リンパ腫の長期予後に関する多施設共同研究 (2021-05)
当院の研究責任者 (所属・職位)	岡 昌平 (内科・医師)
研究分担者 他の研究機関および 各施設の研究責任者	研究代表者：岡山大学病院 岩室雅也 他の研究協力機関：福山市民病院 (小林沙代)、福山医療センター (豊川達也)、姫路赤十字病院 (筑木隆雄)、姫路聖マリア病院 (澤田幸子)、尾道市民病院 (河合良成)、津山中央病院 (竹中龍太)、倉敷中央病院 (松枝和宏)、住友別子病院 (鈴木誠祐)、四国がんセンター (堀伸一郎)、三豊総合病院 (永原照也)、香川労災病院 (滝本秀隆)、香川県立中央病院 (稲葉知己)、広島市立広島市民病院 (中川昌浩)、岩国医療センター (田中彰一)、岡山ろうさい病院 (柘野浩史)、岡山赤十字病院 (井上雅文)、岡山市立市民病院 (西村守)、岡山済生会総合病院 (吉岡正雄)、岡山医療センター (万波智彦)
研究の目的	胃や腸などの消化管にもリンパ腫ができることがあり、そのひとつが『消化管濾胞性リンパ腫』である。しかし、この病気の頻度が比較的少ないこともあり、消化管濾胞性リンパ腫症例のうち、どの程度の割合が、何年後に病状が悪化するかについては解明されていない。本研究の目的は、消化管濾胞性リンパ腫症例のカルテ情報を検討することにより、実際の診療における検査・治療方針の決定に役立てることができる情報を提供することである。
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2016年3月31日までに消化管生検もしくは消化管切除標本にて消化管濾胞性リンパ腫の病理学的診断がなされた症例の診療情報
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま：1990年1月1日から2016年3月31日までに消化管濾胞性リンパ腫の診断を受けられた患者様 ●利用する情報：消化管濾胞性リンパ腫の患者様の診断日および予後、性別、年齢、WHO grade、病期分類(Ann Arbor 分類および Lugano 分類)、LDH 値や Hb 値を含む血液検査結果、内視鏡検査結果、骨髄浸潤、リンパ節病変数、CT 検査での消化管病変の検出性、PET 検査での消化管病変の検出性、FLIPI リスク分類
試料/情報の他の研究 機関への提供および 提供方法	個人が特定できないように匿名化したうえで、主幹研究機関へ試料/情報の提供を行います。
個人情報の取り扱い	調査情報は、日本鋼管福山病院医局および岡山大学病院消化器内科医局で研究責任者が厳重に取り扱います。データ処理には、パスワードで制御されたコンピューターを使用し、データ分析時には匿名化して処理を行います。研究結果は匿名化したうえで関連学会での発表を行う予定です。
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究参加拒否期限	2022年3月31日
お問い合わせ先	日本鋼管福山病院 消化器内科 TEL 084-945-3106 (代表) 担当者：岡 昌平
備考	